

< 英語 >

内 容

英語のクラスは習熟度別編成をしています。各クラスに目標グレードを表示して、全員がミニマムレベル（TOEIC®L&Rテスト：400点）をクリアするとともに、特に高度なレベル（TOEIC®L&Rテスト：730点）を獲得することを目標とするよう、積極的な援助を行います。

① 英語Ⅰ／Ⅳ（Reading & Study Skills）

日本人教員かネイティブスピーカー教員担当による授業で、1 Semester毎に完結して、各1単位を授与します。基礎教育としての学問諸分野から興味深い様々なテーマを取り上げたテキストを読み、語彙力、読解力、内容要約力などリーディングの養成に重点を置きます。またテーマに基づいたライティングをするなど書く力も養成します。第1 Semester、第2 Semesterとも内容は同じですが、第2 Semesterはレベルが少し高くなります。

② 英語Ⅱ／Ⅴ（Listening & Speaking Skills）

ネイティブスピーカー教員担当による授業で、1 Semester毎に完結して、各1単位を授与します。身近なトピック、興味深いテーマや問題を焦点にしてリスニングとスピーキングの養成に重点を置きます。第1 Semester、第2 Semesterとも内容は同じですが、第2 Semesterは第1 Semesterで養成されたコミュニケーション能力をベースにレベルが少し高くなります。

③ 英語Ⅲ／Ⅵ（Research, Presentation & Writing）

ネイティブスピーカー教員担当による授業で、1 Semester毎に完結して、各1単位を授与します。身近なトピック、興味深いテーマや問題を英語でリサーチし、プレゼンテーションしたり、ライティングしたものを提出したりすることに重点を置きます。第1 Semester、第2 Semesterとも内容は同じですが、第2 Semesterはレベルが少し高くなります。

④ 英語Ⅶ／Ⅷ（English Development）

2年生（第3 Semester、第4 Semester）では、第一外国語として英語を選択した学生のみが、必修となります。週1回、1 Semester毎に各1単位を授与します。クラスは3つのグレードに分けられ、習熟度別に編成します。

【回生別科目配当表】

英語		
1 回生	第 1 Semester	英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語Ⅲ（各週1回授業、各1単位）
	第 2 Semester	英語Ⅳ・英語Ⅴ・英語Ⅵ（各週1回授業、各1単位）
2 回生	第 3 Semester	英語Ⅶ（週1回授業、各1単位）
	第 4 Semester	英語Ⅷ（週1回授業、各1単位）

<初修外国語>

(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・イタリア語)

内 容

① ○○語・基礎—【文法】

1回生／第1 Semester (週2回)、日本人教員担当、2単位。

発音の基礎訓練については基本的に下記「○○語・表現」に委ね、その分、第1 Semesterの授業時間を十分に活用して、(ヨーロッパ言語ならば)接続法、分詞の用法までも含めた文法を網羅的かつ集中的に学習します。

② ○○語・展開—【初級講読】

1回生／第2 Semester (週2回)、日本人教員担当、2単位。

初歩的読解力の養成。「○○語・基礎」および並行して受講している「○○語・表現」で得た知識と技能を基礎に、平易なテキストを、辞書を十分に活用して精確に読みこなせる学力を習得します。

ただし、中国語はスクール・グラマーが確立されていないという事情から、截然と文法と講読に分かちがたいので、「基礎」、「展開」と合わせて、年間を通じて中国語の基礎の習得を目指すものとします。

③ ○○語・表現Ⅰ・Ⅱ

1回生／表現Ⅰ：第1 Semester (春 Semester・週1回)、表現Ⅱ：第2 Semester (秋 Semester・週1回)、外国人教員担当、各1単位。

発音の基礎訓練、発音規則の習得にはじまって、様々なシチュエーションにおける現代○○語の話し言葉における基本的な表現パターンを聞き取り、話すことのできる、基礎的な発話能力・聴解力・表現力の習得を目指します。

④ ○○語・応用Ⅰ・Ⅱ【中級講読】

2回生／応用Ⅰ：第3 Semester (春 Semester・週1回)、応用Ⅱ：第4 Semester (秋 Semester・週1回)、日本人および外国人教員担当、各1単位。

1回生時に習得した初歩的な○○語運用能力を基礎に、その学力の積み上げを図ります。文学部各専攻の大多数の学問分野が基本的に「文献学」であることを踏まえて、「読解力」の向上を基本にすえて、語学力のグレードアップを目指します。

【回生別科目配当表】

初修外国語			
1回生	第1 Semester	基礎 (週2回授業、2単位)	表現Ⅰ (週1回授業、1単位)
	第2 Semester	展開 (週2回授業、2単位)	表現Ⅱ (週1回授業、1単位)
2回生	第3 Semester	応用Ⅰ (週1回授業、1単位)	
	第4 Semester	応用Ⅱ (週1回授業、1単位)	

< 日本語 >

【外国人留学生対象】

概要

日本語を母語としない外国人留学生のみなさんが大学での学修に必要とされる高い日本語運用能力を修得することができるように、第1外国語として、日本語科目の履修を必修としています。また、日本語運用レベルに応じて、必修の8単位を超えて10単位の履修を求める場合があります。

日本語による講義を理解し、授業の中での議論に参加し、レポートを書くために必要とされる日本語運用能力を身につけるために、必ず1・2回生の間に日本語科目を履修してください。

【日本語科目一覧】

配当回生	科目名	単位数	授業開講期間
1 回生	(留) 日本語Ⅶ (文章表現 a)	1	春セメスター
	(留) 日本語Ⅶ (文章表現 b)	1	秋セメスター
	(留) 日本語Ⅶ (読解 a)	1	春セメスター
	(留) 日本語Ⅶ (読解 b)	1	秋セメスター
	(留) 日本語Ⅶ (聴解口頭 a)	1	春セメスター
	(留) 日本語Ⅶ (聴解口頭 b)	1	秋セメスター
2 回生以上	(留) 日本語Ⅷ (アカデミック日本語 a)	1	春セメスター
	(留) 日本語Ⅷ (アカデミック日本語 b)	1	秋セメスター
	(留) 日本語Ⅷ (キャリア日本語 a)	1	春セメスター
	(留) 日本語Ⅷ (キャリア日本語 b)	1	秋セメスター

<初修外国語・既修者対応プログラム>

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語

意義と目的

初修外国語・既修者対応プログラムは、高校の授業や海外生活などで既に初修外国語を学んだ人（既修者）が継続して学習できるよう設定しており、これまで培ってきた力を一層伸ばすことを目的としています。

このプログラムを受講する学生は、通常の正課初修外国語の科目に代えて既修者対応プログラム用の科目を履修し、初修外国語の卒業に必要な単位を修得していくことになります。

受講資格

下記の①～③のいずれかの資格に該当する学生で、新入生オリエンテーション期間中に既修者対応プログラムガイダンスに出席することが必要です。

- ① 高等学校等で、当該言語について4単位相当以上履修し、一定のレベルに到達している学生

【参考：1単位は45分授業を週1回・1年間学習するものとする】

- ② 原則として、当該の言語圏で1年間以上在住し帰国した学生
- ③ 上記①・②と同等レベルの語学力がある学生

履修方法

文学部の必修初修外国語科目（「〇〇語・基礎」…、「〇〇語・表現Ⅰ」…等）を履修せず、下記の既修者用科目を、初修外国語必修科目として履修します。

回生	授業開講期間	学部正課科目 (①②は単位数)	履修 単位数	既修者受講科目
1回生	春semester	〇〇語・基礎 ② 〇〇語・表現Ⅰ ①	6単位	〇〇語 中級 コミュニケーションⅠ・Ⅱ 〇〇語 中級 表現読解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ (4科目選択)
	秋semester	〇〇語・展開 ② 〇〇語・表現Ⅱ ①		
2回生	春semester	〇〇語・応用Ⅰ ①	2単位	〇〇語 上級 コミュニケーション 各科目 〇〇語 上級 表現読解 各科目
	秋semester	〇〇語・応用Ⅱ ①		